

○水生生物モニタリング調査結果一覧 (いわき市沖M)

<いわき市沖M 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
M-2	○	○	○	○	○	○

<いわき市沖M 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時		水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)	
M-2 (表層)	37.1996°	141.0853°	R2.8.22	08:24	08:53	23.7	21.5	砂	5Y 3/1	貝殻片	42.7	14.5	
M-2 (下層)				08:31		18.6							

<いわき市沖M 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
M-2 (表層)	37.1996°	141.0853°	R2.8.22	08:24	8.1	<0.5	1.8	8.2	4840	33.34	1.2	<1	0.4	N.D. (0.0013)	0.0015	—
M-2 (下層)				08:31	8.1	<0.5	1.1	8.5	4910	33.65	1.1	2	0.7	N.D. (0.0015)	0.0022	0.00081

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<いわき市沖M 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
M-2	37.1996°	141.0853°	R2.8.22	08:53	7.7	345	22.1	1.7	3.0	2.773	—	—	2.4	93.9	1.8	1.9	0.16	0.85	1.8	32	N.D. (0.16)

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<いわき市沖M 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
M-1 M-2 M-3	久之浜沖	37.1736° 37.1996° 37.2324°	141.0788° 141.0853° 141.0935°	R2.8.22	脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Kareius bicoloratus</i>	イシガレイ	1	0.60	未成魚	貝類	内臓除去	0.83	N.D. (0.49)	0.83	—
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	ヒラメ	<i>Paralichthys olivaceus</i>	ヒラメ	4	2.9	未成魚/成魚	空胃	内臓除去	0.43	N.D. (0.27)	0.43	N.D. (0.018)
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	タイ	<i>Eyynniss japonica</i>	チダイ	7	1.7	未成魚	エビ類、カニ類	内臓除去	0.54	N.D. (0.49)	0.54	—
					脊椎動物	軟骨魚	カスザメ	カスザメ	<i>Squatina japonica</i>	カスザメ	1	4.3	未成魚	イカ類	内臓除去	3.3	N.D. (1.4)	3.3	N.D. (0.021)
M-4	久之浜沿岸	—	—	R2.8.22	藻類・植物	褐藻	コンブ	コンブ	<i>Eisenia bicyclis</i>	アラメ	—	0.33	—	—	—	0.27	N.D. (0.29)	0.27	—
					藻類・植物	褐藻	コンブ	コンブ	<i>Saccharina japonica</i>	マコンブ	—	0.28	—	—	—	0.43	N.D. (0.35)	0.43	—
					軟体動物	腹足	古腹足	ミマガイ	<i>Haliotis sp.</i>	アワビ類	3	0.26	成体	—	軟体部	N.D.	N.D. (0.36)	N.D. (0.31)	—
					棘皮動物	ウニ	ホウニ	オホハフウニ	<i>Strongylocentrotus nudus</i>	キタムラサキウニ	6	0.68	成体	—	—	N.D.	N.D. (0.26)	N.D. (0.24)	—
					脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	フサカサゴ	<i>Sebastes cheni</i>	シロメバル	3	0.029	未成魚	—	—	N.D.	N.D. (1.8)	N.D. (1.6)	—
					脊椎動物	硬骨魚	フグ	フグ	<i>Takifugu poecilonotus</i>	コモンフグ	38	0.32	未成魚	—	—	0.47	N.D. (0.34)	0.47	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。